令和6年度　年間授業計画

教　科：数学　　科　目：数学Ⅰ　　単位数：3

対象学年：第1学年

使用教材	教科書：	新編 数学Ⅰ（数研出版）
	補助教材：	SUKEN NOTEBOOK　基本と演習テーマ　数学Ⅰ＋A　完成ノート（数研出版）

教科（　数学　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目（　数学Ⅰ　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

令和6年度　年間授業計画　科目（　数学Ⅰ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　数と式	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	16
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	二次式の乗法、因数分解、無理数の四則演算を行えるようにする。	式の計算，実数	公式を理解し利用することができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	目的に応じて式を適切に変形することができるようにする。	教科書、問題集	目的に応じて式を適切に変形することができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	練習を繰り返すことで知識を定着させようとする姿勢を育てる。	予習・復習課題の提示・提出	式の展開・因数分解について見通しを持って取り組もうとする。				
	定期考査（中間考査）/返却と解説			○	○	○	2
	単元　数と式	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	一次不等式の性質について理解し、解を求めることができるようにする。	実数，一次不等式	一次不等式の性質について理解し、解を求めることができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	一次不等式を問題解決に活用することができるようにする。	教科書、問題集	文章題において一次不等式を立式することができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	一次不等式や連立不等式について自ら考察しようとする態度を育てる。	予習・復習課題の提示・提出	一次不等式や連立不等式について自ら考察しようとする。				
	単元　二次関数	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	7
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	二次関数の値の変化やグラフについて理解する。	二次関数とグラフ	二次関数の式を正しく変形しグラフを描くことができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	二つの数量の関係に着目し、問題を解決する。	教科書、問題集	グラフの平行移動について式と関連付けて理解している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	二次関数の式とグラフの関連性について自ら考察できるようにする。	予習・復習課題の提示・提出	二次関数の式とグラフの関連性について自ら考察している。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説			○	○	○	2

令和6年度　年間授業計画　科目（　数学Ⅰ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単元　二次関数	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	14
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	二次関数の最大値や最小値を求める。	二字関数の値の変化	二次関数の最大値や最小値を求めることができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	二次関数の値の変化について、グラフと関連付けて考察できるようにする。	教科書、問題集	一般事象の最大値・最小値を二次関数を利用し求めることができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	関数の値の変化についてグラフを根拠に見通しを立てる態度を育てる。	予習・復習課題の提示・提出	最大・最小についてグラフを根拠に見通しを立てようとしている。				
	単元　二次関数	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	二次方程式を解くことができるようにする。	二次方程式	二次方程式を解くことができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	二次関数の値の変化・グラフと関連付けて二次方程式について考察する。	教科書、問題集	二次方程式の解について二次関数のグラフを関連付けて理解している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	二次方程式の解の判別式などの事項を問題解決に活用する姿勢を育てる。	予習・復習課題の提示・提出	二次方程式の解の判別式などを解法に活用しようとしている。				
	定期考査（中間考査）/返却と解説			○	○	○	2
	単元　二次関数	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	二次不等式を解くことができるようにする。	二次不等式	二次不等式を解くことができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	二次関数の値の変化・グラフと関連付けて二次不等式について考察する。	教科書、問題集	二次不等式の解について二次関数のグラフを関連付けて理解している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	二次不等式が実数解をもつときの解の判別について自ら考察できるようにする。	予習・復習課題の提示・提出	二次不等式の解の判別式などを解法に活用しようとしている。				
	単元　図形と計量	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	7
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	鋭角の三角比と相互関係について理解し、鈍角の三角比の値を求めることができるようにする。	三角比	辺の長さや相互関係等から三角比の値を求めることができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現する。	教科書、問題集	図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現することができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	三角比を用いて表現したものをもとに、定理や公式を導く。	予習・復習課題の提示・提出	三角比をもとに、定理や公式を導くことができる。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説			○	○	○	2

令和6年度　年間授業計画　科目（　数学Ⅰ　）

	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単元	図形と計量	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	9
	知識及び技能		指導事項	知識・技能				
	正弦定理や余弦定理について理解し、これを応用して三角形の辺の長さなどを求める。		三角形への応用	正弦定理や余弦定理を理解し活用することができる。				
	思考力、判断力、表現力等		教材	思考・判断・表現				
	事象を数学的に捉え、三角比を用いて課題を解決することができるようにする。		教科書、問題集	事象を数学的に捉え、三角比を用いて問題を解くことができる。				
	学びに向かう力、人間性等		一人１台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	平面・空間図形の辺や角度について三角比を利用して求めようとする姿勢を育てる。		予習・復習課題の提示・提出	平面・空間図形の問題について三角比を利用しようとする。				
	単元	データの分析	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	5
	知識及び技能		指導事項	知識・技能				
	分散、標準偏差の意味やその用い方を理解する。		データの整理,分散と標準偏差	分散、標準偏差の意味を理解し求めることができる。				
	思考力、判断力、表現力等		教材	思考・判断・表現				
	データの散らばり具合や傾向を、それを数値化した値と関連付けて説明することができるようにする。		教科書、問題集	データの傾向を、それを数値化した値と関連付けて説明できる。				
	学びに向かう力、人間性等		一人１台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	データの散らばり具合を示すために、四分位数などの既知の値を用いようとする態度を育てる。		予習・復習課題の提示・提出	データの傾向を分析するために分散などの値を活用しようとする。				
	単元	データの分析	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	知識及び技能		指導事項	知識・技能				
	散布図、相関係数の意味やその用い方を理解する。		二つの変量の間の関係	散布図、相関係数の意味やその用い方を理解する。				
	思考力、判断力、表現力等		教材	思考・判断・表現				
	二つの数量に関する傾向を、相関係数を計算することで分析・説明することができるようにする。		教科書、問題集	二つの数量に関する傾向を、相関係数を計算することで分析・説明することができるようにする。				
	学びに向かう力、人間性等		一人１台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	二つの数量の相関関係と、それぞれの偏差の符号の関連性などについて考察する。		予習・復習課題の提示・提出	二つの数量の相関関係と、それぞれの偏差の符号の関連性などについて考察する。				
	単元	集合と命題	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	7
	知識及び技能		指導事項	知識・技能				
	集合と命題の基本的な概念を理解する。		集合と命題	集合と命題の基本的な概念を理解している。				
	思考力、判断力、表現力等		教材	思考・判断・表現				
	集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができようにする。		教科書、問題集	集合を正しく表記し、利用して簡単な証明をすることができる。				
	学びに向かう力、人間性等		一人１台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	集合の包含関係や不等式の記述内容を、証明の論拠として用いようとする態度を育てる。		予習・復習課題の提示・提出	集合の考え方を証明の論拠として用いようとする。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説				○	○	○	2
								合計
								105